

<速報>

\* 5月1日、イラク南部サマワで車2台を使った連続爆弾テロが発生、少なくとも33人が死亡、50人以上が負傷した。同地ではこれまで「イスラム国」によるは起きていなかった。

\* 5月1日、トルコ南部ガジアンテップ中心部の県警本部前で車両を使った大規模な自爆テロ事件が発生、少なくとも警官2人が死亡、警官18人と民間人4人の計22人が負傷した。

\* 5月1日、シリア国境に近いトルコ南東部アルディン地区で激しい戦闘があり、トルコ軍兵士3人が死亡、14人が負傷した。トルコ軍は「国家分裂をたくらむテロ集団」による攻撃と主張、PKKとの交戦を示唆した。

\* 5月2日、イランのロハニ大統領がテヘランを訪問した韓国の朴クネ大統領と会談し、終了後の記者会見で「世界中の、とりわけ朝鮮半島でのあらゆる大量破壊兵器、特に核兵器の廃絶を求めると述べ、北朝鮮の核保有に反対する姿勢を表明した。

\* 5月2日、ノルウェーのゾルベルグ首相が記者会見で、同国が「イスラム国」掃討作戦を展開する米軍主導の有志連合を支援するため兵士60人を派遣してシリア人勢力の訓練を実施すると発表した。

\* 5月3日、ロシアのラブロフ外相がモスクワでデミストゥラ国連シリア担当特使と会談、会談後の会見でジュネーブに米ロ共同の停戦監視センターを設けることを発表した。

\* 5月3日（日本）、東京都江東区の空き開け講演で「安部改憲阻止・安部政治を終わらせよう」との「憲法集会」（主催：実行委員会）が開催され約5万人が参加。4野党党首も参加。大阪で2万人、神戸1万1000人、京都3000人、札幌1200人、横浜710人、名古屋2500人、那覇1500人が参加する集会開催。

\* 5月3日、ブラジル検察が汚職疑惑の渦中にあるルラ前大統領が官房長官に起用された人事に関して汚職事件の捜査を妨害した疑いがあるとして、ルセフ大統領とルラ氏に対する捜査開始の許可を連邦最高裁に求めた。

\* 5月3日、スペインのフェリペ6世が議会解散の政令に署名し、議会も承認した。出直し選挙は6月26日に実施される。

\* 5月3日、米国国防総省がイラク北部モスル北方で「イスラム国」の攻撃により米兵1人が死亡したと発表した。

\* 5月5日、在英の反体制派「シリア人権監視団」が、同日シリア北西部イドリブ県北部の難民キャンプが空爆され、少なくとも女性と子どもを含む28人が死亡、50人が負傷したと発表。

\* 5月5日、ブラジル最高裁がクニャ下院議長の職務停止を命じた。クニャ議長はペトロブラスをめぐる汚職事件にからみ、収賄で刑事捜査の対象だったほか、スイスの銀行への不正蓄財疑惑が浮上していたが、当局による操作を妨害したとされる。

\* 5月5日、トルコのダウトオール首相が辞意を表明。エルドアン大統領と憲法改正によって現在の議員内閣制から自らが大きな権限を持つ大統領制へと政治体制を変えることをメアしている問題で同大統領と対立していた。

\* 5月5日、パレスチナ自治区ガザでイスラエル軍の砲撃によりパレスチナ人女性1人が死亡した。イスラエル軍とハマスの攻撃の欧州が頻繁化している。

\* 5月5日、米国国防総省が米軍がシリア、イラク両国で「イスラム国」の外国人メンバー

を狙った空爆を相次いで実施し、オーストラリア国籍の幹部2人とスーダン国籍の幹部1人を殺害したと発表した。

\* 5月5日、イギリスで地方選挙が実施され、スコットランド議会選（129議席）では、スコットランド民族党が6議席減の63議席となり過半数議席を失ったが、4議席増の6議席になった緑の党との連立を模索する見通し。保守党が31議席、労働党は13議席減の24議席となり第3党に逆転。ウェールズ（定数60）ではイギリス独立党が初の議席となる7議席を獲得。ロンドン市長選挙では労働党が勝利した。

\* 5月5～6日、シリア北部アレッポ郊外で政府軍と「ヌスラ戦線」などイスラム過激派による激しい交戦があり、少なくとも73人が死亡した。交戦の結果、「ヌスラ戦線」などがアレッポ南西のハントゥマンを制圧した。

\* 5月6日、平壤で北朝鮮労働党大会が開始。前回の党大会から36年ぶり。金正恩第1書記は党大会で個人独裁の強化のための「偶像化」を図ると見られる。同9日、金正恩第1書記は党委員長に就任した。政治局常務委員は、正恩、金永南・再考人民会議常任委員長、黄ピョン瑞・軍政治局長、新たに朴奉珠首相と崔竜海・党書記が選任され、5人に増えた。

\* 5月6日、2月26日に実施された総選挙（定数158）で統一アイルランド党と労働党の連立政権が倒れ、組閣協議が難航していたアイルランドで、比較第1党の統一アイルランド党のエンダ・ケニー党首が無所属議員の協力を得て首相に再選された。

\* 5月6日、ブラジルのルセフ大統領に対する弾劾の是非を検討していた連邦議会上院の特別委員会が弾劾手続きの継続を支持する報告書を賛成多数で承認した。今後上院本会議に送られ、弾劾法廷設置の賛否を巡って採決が行われる予定。

\* 5月7日、ポーランドで強権的なメディア介入や司法権の弱体化を進める政府・与党「法と正義」に抗議する大規模なデモがワルシャワ市内行われ、同市発表で約24万人が参加。

\* 5月7日、スペイン政府がシリアで行方不明となり武装勢力に拘束されていたとみられていたスペイン人のフリージャーナリスト3人が解放されたと発表した。「ヌスラ戦線」に拘束されていたと見られる。

\* 5月8日、エジプトのカイロ近郊ヘルワンで警察官を乗せたマイクロバスが武装集団に襲撃され、警察官8人が死亡した、「イスラム国」が犯行声明を發出。

\* 5月9日、ギリシャ議会が政府から出された税制・年金改革案を可決した。EUからの追加融資を受けるために条件となっている緊縮策であり、8日にはこれに反対する1万5000人による抗議デモが首都アテネと北部のテッサロニキで行われた。

\* 5月9日、フィリピンで大統領選挙が実施され、ダバオ市長のロドリゴ・ドゥアルテ（71）が当選した。ドゥアルテは領有権争いが続く南シナ海問題で中国との対話を主張している。

\* 5月9日、EUユーロ圏19ヶ国はブリュッセルで臨時財務省会議を開き、ギリシャ議会が同日に税制・年金改革案を可決したことを受け、早期にギリシャへの追加融資で合意を目指す方針を確認した。

\* 5月9日、米国のクック国防総省報道官が米軍主導の有志連合が6日にイラク西部ルトバ近郊で空爆を行い、西部アンバル州の「イスラム国」の軍作戦を統括するアブ・ワヒブ幹部と他の「イスラム国」メンバー3人を殺害したと発表した。

\* 5月10日、オバマ大統領がG7サミット出席のため訪日する際に広島を訪問する方針を

決めたことを発表した。同日、アーネスト米国大統領補佐官がオバマ大統領の広島訪問について、「核兵器のない世界を実現させる大統領の熱意について前向きなシグナルを送る」と述べ、被爆地から核廃絶のメッセージを発信する意義を強調した。

\* 5月10日、トルコ東部ディヤルバクル中心部で自動車爆弾が爆発し3人が死亡、警官12人を含む45人が負傷した。治安当局はPKKの犯行と見ているが、犯行声明は出していない。

\* 5月11日、イラクの首都バグダッド東部の商店街で自動車を使った自爆テロと見られる爆発があり、さらに2件の爆発事件が発生し、少なくとも94人が死亡、165人が負傷した。「イスラム国」が犯行声明を发出。

\* 5月12日、ブラジル上院（定数81）が政府会計を不正操作したとの理由でルセフ大統領に対する弾劾裁判を行う法廷設置を賛成55、反対22で可決、これによってルセフ大統領は180日間停職となった。ルセフ大統領が弾劾手続きによる職務停止に追い込まれたことを受け、テメル副大統領が大統領代行に就任した。内閣は全閣僚が入れ替えられ、中道左派の労働党に代わって、中道右派の野党勢力が中心となり、選挙を経ずに「政権交代」が実行された。閣僚23人全員が白人男性。

\* 5月12日、ローマ・カトリックのフランシスコ法王が、キリスト教初期に存在した女性聖職者を復活させる可能性について検討委員会を設ける考えを示した。

\* 5月13日、ベルギー政府がイラク領内で参加している米国主導の有志連合による「イスラム国」への空爆についてシリアにも拡大する方針を決定した。

\* 5月13日、イラクの首都バグダッド北方80キロにある町バラドでサッカーファンが集まっている飲食店を武装集団が襲撃し16人が死亡、30人が負傷した。

\* 5月14日、シリア東部デリゾールで「イスラム国」が病院を襲撃し、アサド政権側の治安要員20人を殺害したほか、医療スタッフを人質にとった。「イスラム国」戦闘員も6人死亡した。

\* 5月14日、ナイジェリアの首都アブジャで「ボコ・ハラム」対策を協議するため関係国首脳や政府高官が参加する国際会議が開催された。会議にはベナン、カメルーン、チャド、ニジェールの首脳のほかフランスのオランド大統領、イギリスのハモンド外相等が出席。

\* 5月15日、キプロスの再統合交渉が再開して1年を迎え、キプロス共和国のアナスタシアデイス大統領と北キプロス・トルコ共和国のアクンジュ大統領が共同声明を出し、「2016年中の包括合意を目指し取り組みを進める」と表明した。

\* 5月15日、イラクの首都バグダッド北方のタジで武装集団が国営のガス工場に自爆攻撃を仕掛け、11人が死亡、21人が負傷した。「イスラム国」が犯行声明を发出。

\* 5月15日、ドミニカ共和国で任期満了に伴う大統領選挙が実施され、再選を目指す与党ドミニカ解放党（PLD）のダニロ・メディナが優勢。

\* 5月15日、イエメン南部の港湾都市ムカラで警察を標的としたテロ攻撃が相次ぎ、最初の自爆テロで少なくとも31人が死亡、60人以上が負傷した。続く爆発でさらに6人が死亡した。「イスラム国」が犯行声明を发出した。

\* 5月15日、コロンビア政府とFARCがキューバの首都ハバナで行っている和平交渉で、FARCが15歳未満の戦闘員を解放し、市民生活に戻すことで合意した。

\* 5月16日、米国のクック国防総省報道官が記者会見でイラクで「イスラム国」の支配下

にあった地域のうち「約45%を奪還した」と公表した。シリアに関しても「イスラム国」制圧地域の「16~20%」を奪還したと述べた。

\*5月16日、国連人道問題調整事務所（OCHA）は「ボコ・ハラム」が襲撃を続けるアフリカ中部のチャド湖周辺の一部で900万人以上が深刻な食料難に陥っていると発表した。国連によると、「ボコ・ハラム」によって一帯では2万人以上が殺され、240万人以上が家を失った。

\*5月16日、リビアをめぐり昨年12月に合意が成立した統一政府樹立を支援する関係国がウィーンで外相級会合を開催、参加国は統一性畏怖に対し、国連安保理がリビアに科した禁輸の例外として武器や装備、訓練など軍事支援に応じることで一致した。

\*5月16日、ウィーンでアゼルバイジャン国内にありながら隣国のアルメニアが実行支配しているナゴルノ・カラバフ自治州の衝突をめぐり、アルメニアのサルキシヤン大統領とアゼルバイジャンのアリエフ大東老が会談し、停戦を順守することを確認した。6月に再度首脳会談を開き、問題解決策を探ることも合意した。

\*5月17日、イラクの首都バグダッドで市民を標的とした連続爆発があり、少なくとも72人が死亡、140人以上が負傷した。爆発は同日夕方までに4ヶ所で発生した。このうちバグダッド北部シャアブ地区の市場では、自爆ベルトによる爆発で38人が死亡した。

\*5月17日、停戦が崩壊の瀬戸際にあるシリア内戦をめぐり、関係17ヶ国と国連などで作る「国際シリア支援グループ」（ISSC）の外相級会合がウィーンで開催され、各国がアサド政権と反体制派の双方に強く停戦順守を迫ることや人道支援などで合意した。しかし、中断した和平協議の再開のめどを示すことはできなかった。

\*5月17日、ベネズエラのマドゥロ大統領が外国メディアを集めた特別会見を行い、同国の左派政権の打倒を狙う一部の外国政府が中心となった攻撃が「過去10年間で最も深刻な脅威となっている」と述べ、ベネズエラの平和と独立を擁護するための連帯を各国の政府や社会運動に呼びかけた。

\*5月17日、インドで4~5月に5つの州・連邦直轄地域で行われた地方議会選挙の開票結果が発表され、南部のケララ州（人口3340万人）では140選挙区中91選挙区でインド共産党（マルクス主義）（CPIM）が主導する政党連合・左翼民主戦線（LDF）が勝利し、州政権を5年ぶりに奪還する見込みとなった。

\*5月18日、シリア中部ホムス県のラスト県でアサド政権側によるとみられる空爆があり、少なくとも子供8人を含む13人が死亡した。

\*5月18日、イエメンのダクル首相がサウジアラビアの首都リヤドで開いた閣議において、反政府勢力のイスラム教シーア派武装組織「フーシ派」が示した統一政府樹立の提案を拒否すると発表した。

\*5月19日、沖縄県うるま市で発生した雑木林に死体を遺棄された会社員の女性（20）の失踪事件で元海兵隊員の米軍軍属（32）が遺体遺棄の容疑で逮捕された。翁長沖縄県知事は強く抗議。沖縄県内や全国各地で抗議行動が拡大している。

\*5月20日（日本）、政府が貧困や飢餓を解決するため国連が掲げた「持続可能な開発目標（SDGs）」の推進本部を立ち上げた。シリア難民を留学生として2017年から5年間に最大150人受け入れることを正式に発表した。

\*5月20日、トルコ国会（定数550）が国会議員の不逮捕特権をはく奪する憲法改正案

を可決した。クルド系議員を追放し、権力強化を図るエルドアン大統領の戦略の一環と見られる。

\* 5月20日、イラクの首都バグダッドで政府の改革の遅れを抗議するサドル派のデモ隊が首相府などがある市中心部の国際警備区域に侵入した。治安部隊が催涙ガスに加えて実弾でも対応したため使者が出たと報じられている。

\* 5月21日、仙台市で開かれたG7財務省・中央銀行総裁会議は2日間の日程を終えて閉幕した。各国は金融改革、財政政策、構造改革で世界経済の成長を支えることを確認したが、財政出動で需要を生み出そうと訴える日本などに対して、ドイツなどは慎重な姿勢を崩さず、足並みはそろわなかった。

\* 5月21日、米国国防省がアフガニスタンの反政府勢力「タリバン」の最高指導者マンスール幹部を標的に、アフガン国境に近いパキスタン領内を車で移動しているところを数機の無人機で空爆して殺害したと発表した。

\* 5月21日、国連のパン・キムン事務総長が南米12ヶ国で作る南米諸国連合（UNASUR）の支援を受けてベネズエラ政府と野党勢力の対話を促す動きが始まったことを歓迎する声明を発表した。

\* 5月22日、ギリシャ議会（定数300）EUが債権団から求められた増税などの財政改革案を可決した。EU側は改革を追加金融支援の条件と位置づけている。

\* 5月22日、オーストリアで大統領選挙が行われ、リベラル派の元「緑の党」党首のアレクサンダー・ダーバレン（72）が右翼・自由党のノルベルト・ホファー（45）を50.5%獲得して49.7%のホファーを破って僅差で勝利した。

\* 5月23日、オバマ大統領がベトナムを訪問し、ハノイでチャン・ダイ・クアン国家主席と会談、会談後の共同記者会見で今回の訪問は「過去数十年間にわたって築いてきた関係と包括的パートナーシップの発展を象徴するもの」と強調し、またベトナムへの武器禁輸を全面的に解除すると表明した。

\* 5月23日、シリアのアサド政権が支配する地中海沿いにあるシャブラとタルトゥスで爆発が相次ぎ、少なくとも121人が死亡した。

\* 5月23日、イエメン南部アデンで軍の施設を標的とした自爆攻撃が相次ぎ、少なくとも41人が死亡した。「イスラム国」が犯行声明を発出した。

\* 5月23日、オバマ大統領が訪問先のベトナムでの記者会見で、アフガニスタンの反政府勢力「タリバン」の最高指導者マンスール幹部について「死亡が確認された」と明言した。

\* 5月23日、IMFがギリシャ財政の再建には債務軽減が不可欠だとする報告書を発表した。2040年まで金利を低く設定することなどを提言している。

\* 5月23日、イラク政府軍が「イスラム国」が支配する中部ファルージャの奪還作戦を開始、25日までに北東部の村落を制圧した。

\* 5月24日、ギリシャ当局が隣国マケドニアとの国境沿いにある「イドメニ難民キャンプ」の撤去作業を開始した。難民ら約8500人は政府管理下のキャンプへ移動させる。

\* 5月24日、EUは、ブリュッセルでユーロ圏財務相会合を開き、極度の財政難に陥っているギリシャに対し103億ユーロに追加融資を決定した。焦点となっていたギリシャの負担軽減については、段階的に実施することで合意した。

\* 5月24日（日本）、島尻安伊子・沖縄北方相が閣議後の会見で日米地位協定について「自

民党県連としても、改正、改定は求めていく、求めざるを得ない」と述べた。

\* 5月24日、イランの最高指導者を選出する専門家会議（定数88）が新議長に保守強硬派のアフマド・ジャンナティ師（89）を選出した。任期2年。同師は51票を獲得。

\* 5月24日、パキスタンのアリ・カーン内相がアフガニスタンの「タリバン」の最高指導者であるマンスール師が米軍無人機の攻撃によって殺害されたことを受け、米軍の攻撃が「主権侵害で国際法の否定」だと指摘し、「無人機攻撃の標的が誰であれ、攻撃を強く非難する」と発言した。米国からパキスタンからの通報は、攻撃後7時間後であったと指摘した。

\* 5月24日、フランスのパルス首相がイスラエルのネタニヤフ首相とパレスチナ自治政府のハムダラ首相を訪れ、それぞれ会談。フランスが両者の和平に向けて提案している国際会議の開催について、イスラエル側が反発した一方、パレスチナ側は歓迎する意向を示した。

\* 5月24日、シリアの少数民族クルド系とアラブ系反政府勢力でつくる合同部隊「シリア民主軍」（SDF）が、「イスラム国」が首都と称する北部ラッカの制圧を目指し、同地北部から地上作戦を開始したと発表した、

\* 5月25日（日本）、沖縄県名護市辺野古の新基地建設する市民団体などでつくる「オール沖縄会議」が元米兵による犠牲者を追悼する緊急県民会議を嘉手納基地第1ゲート前で開き、約4000人が参加した。

\* 5月25日、G7出席のため訪日したオバマ大統領が安倍首相と会談。首相は米軍族の男による殺害・死体遺棄事件について米側に抗議し、実効性のある再発防止策を講じるよう求め。オバマ大統領は事件に哀悼と遺憾の意を表明した。

\* 5月25日、イスラエルのネタニヤフ首相と極右政党「イスラエル我が家」を率いるリーベルマン前外相が、同氏が国防相に就任し、同党が右派連立政権に参加することで合意した。

\* 5月25日、アフガニスタンの反政府勢力「タリバン」が最高指導者であったマンスール幹部の死亡を確認し、後継者として副官だったハイバトゥラ・アクンザダ幹部を選出したと発表した。

\* 5月26日（日本）、沖縄県議会が臨時本会議を開き、「在沖米海兵隊の撤退」を求める抗議決議と意見書を全会一致で可決した。県政野党の自民党などは退席した。

\* 5月26～27日、G7首脳会議（伊勢志摩サミット）が開催され、「各国の状況に配慮しつつ、経済政策による対応を協力して強化する」などとした首脳宣言を採択した。宣言では、「回復は続いているが、成長は引き続き緩やかでばらつきがあり、世界経済の見通しに対する下方リスクが高まっている」と指摘。

\* 5月27日、ロシアのプーチン大統領がギリシャを訪問し、アテネでチプラス首相と会談。チプラス首相は会談後の共同記者会見でEUによる対ロ生産w p「生産的ではない」と批判した。

\* 5月27日、米軍がソマリアの「アルシャバブ」のアブドラヒ・ハジ・ダウド幹部を狙った空爆を行ったが、同幹部は死亡した。

\* 5月28日、マレーシアに子ども31人を含むシリア難民68人が到着。ザヒド副不詳は「今後数ヶ月でさらに200人が到着する。計3000人のシリア難民を受け入れる予定である」と表明。双方は仲介役のスペインのサパテロ前首相、パナマのトリホス元大統領、ドミニカ共和国のフェルナンデス前大統領と会談。

\* 5月28日、ベネズエラの政府と野党の代表がドミニカ共和国で対話に向けた基盤づく

りをめざしてそれぞれ仲介団と会談した。

\* 5月29日、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）が、27～29日までの3日間にリビア・イタリア間の地中海で起きた3件の密航船転覆事故で難民・移民700人以上が死亡したと公表。

\* 5月29日、イエメンで政府軍とイスラム教シーア派武装組織「フーシ派」の間で激しい戦闘が発生、フーシ派の28人、政府軍の20人が死亡した。

\* 5月30日、イラク政府軍が「イスラム国」からの奪還をめざす中部ファルージャ市内に進攻を開始した。米軍など有志連合軍による空爆の支援を受け、南北と東の2方向から包囲を進めている。

\* 5月30日夜、シリア北西部イドリブで10回の空爆狩り、子ども7人を含む少なくとも市民23人が死亡した。空爆はロシア軍によるものと見られる。

\* 5月30日、ブラジルの「暫定政権で汚職の撲滅を担当するシルベイラ監督相が辞任した。国営石油会社ペトロブラスと政界の汚職事件をめぐる捜査妨害とも取れる会話の録音がメディアに流出したことが原因。

\* 5月30日、シリアのアラブ系シリア人の反体制派武装勢力数千人の部隊が同国北部アレッポの北東約90キロにあるマンビジュ周辺の「イスラム国」の支配地域を目指し、地上作戦を開始した。ラッカへもクルド人部隊が進撃している。

\* 5月30日、イスラエル国会が対パレスチナ強硬派で知られる極右政党「イスラエル我が家」のリーベルマン党首の国防相就任を賛成多数で承認した。パレスチナ側は反発しており、頓挫している和平交渉再開がさらに遠のくとの懸念が強まっている。

\* 5月31日、北朝鮮が日本海側の江原道元山ムスダン中距離弾道ミサイルとみられる飛翔体1発を発射したが、発射は失敗したと見られる。

\* 5月31日、アフガニスタン北部クンドゥス州で計200人が乗ったバス4台が襲撃され、少なくとも16人が射殺され、30人以上が拉致された。「タリバン」は犯行声明を發出。